

PAT-NO: JP410326317A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10326317 A

TITLE: AUTOMATIC TRANSACTION DEVICE SYSTEM

PUBN-DATE: December 8, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAKANISHI, HIROSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

OKI ELECTRIC IND CO LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP09136502

APPL-DATE: May 27, 1997

INT-CL (IPC): G06F019/00, G06F001/00 , G07D009/00 , G07D009/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate the payment of a small amount of commission from an account for every transaction, by making it possible to pay the commission later even for the transaction for which the commission needs to be paid.

SOLUTION: A commission file made to correspond to the account of a customer is provided on a host computer 2 and when a commission needs to be paid for a customer's transaction, an automatic transaction device 1 allows the customer to make a choice between the payment of the commission from the account and afterward payment and when the customer selects the afterward payment of the commission, the host computer 2 records and stores information on the commission in the corresponding commission file 2b, calculates the amount of commission to be paid together afterward according to the information in the commission file 2b, and performs batch payment by paying the amount of money from the account of the customer.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-326317

(43)公開日 平成10年(1998)12月8日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	F I		
G 0 6 F 19/00		G 0 6 F 15/30	3 2 0	
1/00	3 7 0	1/00	3 7 0 F	
G 0 7 D 9/00	4 5 1	G 0 7 D 9/00	4 5 1 A	
			4 5 1 B	
	4 5 6		4 5 6 E	

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平9-136502

(22)出願日 平成9年(1997)5月27日

(71)出願人 000000295

沖電気工業株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

(72)発明者 中西 博

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気
工業株式会社内

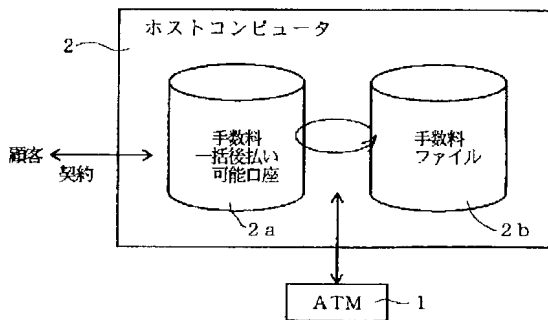
(74)代理人 弁理士 金倉 喬二

(54)【発明の名称】 自動取引装置システム

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 顧客は、手数料のかかる取引を行う度に、半端な金額の手数料を引き落とされることとなっていた。このため、口座にある残高をいつでも全額利用できるわけではなく、常に手数料を考慮して取引を実行する必要があった。

【解決手段】 顧客の口座に対応させた手数料ファイル2bをホストコンピュータ2に設け、顧客の取引が手数料を要するものである場合、自動取引装置1は、手数料を引き落とすかまたは後払いとするかをその顧客に選択させ、該顧客が手数料の後払いを選択した場合、前記ホストコンピュータ2は、対応する手数料ファイル2bにその手数料の情報を記録・保存しておき、前記ホストコンピュータ2は、その手数料ファイル2bの情報に基づいて手数料の一括後払い金額を算出し、この金額を当該顧客の口座から引き落として一括後払いを実行することとした。



実施の形態の自動取引装置システムの説明図

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ホストコンピュータと、該ホストコンピュータに接続した複数の自動取引装置からなり、予め顧客が開設した口座の情報をホストコンピュータに記録し、その顧客が前記自動取引装置を利用して取引を実行する自動取引装置システムにおいて、

顧客の口座に対応させた手数料ファイルをホストコンピュータに設け、

顧客が実行する取引が手数料を要する取引である場合、自動取引装置は、手数料を引き落とすかまたは後払いとするかをその顧客に選択させ、

該顧客が手数料の後払いを選択した場合、前記ホストコンピュータは、対応する手数料ファイルにその手数料の情報を記録・保存しておき、

前記ホストコンピュータは、その手数料ファイルの情報に基づいて手数料の一括後払い金額を算出し、この金額を当該顧客の口座から引き落とすことにより、一括後払いを実行することを特徴とする自動取引装置システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は自動取引装置システムに係り、特に、金融機関等にて利用される自動取引装置システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種のシステムは、顧客の操作により入金、出金、振込および振替等の取引を自動的に行う複数の自動取引装置と、該自動取引装置に接続したホストコンピュータから構成されている。顧客がその従来の自動取引装置を利用して出金取引を行う際、該取引が所定時間帯内に行われるのであれば手数料はかからないが、その所定時間帯外に行うと、例えば105円あるいは210円等の手数料を支払う必要があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前述の従来のシステムでは、所定時間帯外に出金取引等の手数料のかかる取引を行うと、その出金取引毎に、手数料を支払う必要があるため、口座にある残高金額を利用することができないという問題があった。例えば、口座の残高が1万円である場合、所定時間帯外には1万円全額の引出しができず、手数料分を差し引いた半端な額しか引き出せない。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、ホストコンピュータと、このホストコンピュータに接続した複数の自動取引装置からなり、予め顧客が開設した口座の情報をホストコンピュータに記録し、その顧客が自動取引装置を利用して取引を実行する自動取引装置システムにおいて、顧客の口座に対応させた手数料ファイルをホストコンピュータに設け、顧客が実行する取引が手数料を要する取引である場合、自動取引装置は、手数料を引き落とすかまたは後払いとするかをその顧客に選択させ、この

顧客が手数料の後払いを選択した場合、ホストコンピュータは、対応する手数料ファイルにその手数料の情報を記録・保存しておき、ホストコンピュータは、その手数料ファイルの情報に基づいて手数料の一括後払い金額を算出し、この金額をその顧客の口座から引き落とすことにより、一括後払いを実行することを特徴とする。

【0005】

【発明の実施の形態】以下に図を用いて本発明の実施の形態について説明する。図1は実施の形態の自動取引装置システムの説明図である。図において1は自動取引装置（以下ATMと略記する。）を示す。2はホストコンピュータであり、複数の前記ATM1と接続して、自動取引装置システムを構成する。前記ホストコンピュータ2は、図示しない中央演算処理装置や各種記憶装置を有し、その記憶装置上に、手数料一括後払い可能口座2aと、手数料ファイル2bを設けてある。

【0006】図2は実施の形態の自動取引装置のブロック図であり、前記のATM1を説明するためのものである。図において、1aは表示・操作部であり、例えば液晶ディスプレイやCRT等による画面と、キーボードや前記画面上に設けたタッチパネル等によりなり、顧客や係員に情報を表示するとともに入力操作を受け入れる。

【0007】1bはカード取扱部であり、顧客のカードを受け入れて該カードの磁気ストライプその他に記録された情報を読み書きすることができる。1cは現金取扱部であり、予め現金を格納し、必要に応じて顧客に現金を支払う。この現金取扱部1cは顧客の現金を受け入れて格納することができるようにしておいてもよい。1dは制御部であり、前記各部を制御するとともにホストコンピュータ2と通信を行い、各種取引を実行する。

【0008】なお、このATM1に通帳取扱部を設けて、顧客の通帳を取扱可能としてもよい。本実施の形態は、手数料を後払いできるようにしたことを特徴としており、顧客は予め、手数料一括後払い可能口座を開設してある。これは、通常の各種口座の機能に加え、出金取引時等に手数料を後払いしたい場合、その手数料を後日利子付きで支払うという機能を加え、そのために必要な契約をしておくというものである。

【0009】その顧客は、任意のATM1を利用し、表示・操作部1aを操作することにより、所望の取引を進める。ここでは一例として、所定時間帯外（すなわち手数料のかかる時間帯）に、出金取引を行うこととして説明する。通常の取引と同様、カード挿入、暗証入力および出金金額指定等の操作を進めた後、当該顧客が手数料一括後払い可能口座を開設している場合には、ホストコンピュータ2は、ATM1の制御部1dを介してその表示・操作部1aに、今回の取引に伴って発生する手数料を今回支払うか、あるいは後日支払うかということをし、顧客に問い合わせるための画面を表示する。

【0010】顧客は、その画面を参照して、どちらかを

3

選択する。今回手数料を支払わないこととして選択を行った場合には、支払納期等の条件をさらに指定することとしてもよい。また、今回手数料を支払わない場合、その手数料は利子付きで所定の納期に一括引き落としされるということを、顧客に通知する。

【0011】この手数料の後払いに関する取引の履歴を示す情報は、手数料ファイル2に格納しておく。ホストコンピュータ2は、例えば月に1度等、所定の期日に、手数料ファイル2b内の履歴の情報を集計し、滞納分の手数料を支払の遅延期間に見合った利子とともに、手数料一括後払い可能口座2aから一括引き落としすることにより、清算を行う。なお、その清算は、必ずしも月に1度とする必要はなく、任意に設定することができる。

【0012】上述のように、手数料を滞納できるようにしておけば、100円程度の中途半端な手数料の引き落としを避けることができ、取引時間等に関わらず、どのような場合にも、口座の残高全額を引き出すことが可能となる。なお、前記説明では、出金取引を例にとって説明したが、振込や振替取引に適用することとしてもよい。

20

4

【0013】また、前述の処理は、プログラムによって実現され、該プログラムは記録媒体に記録して提供される。

【0014】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、ホストコンピュータに手数料ファイルを設けたことにより、手数料が必要な取引であっても、その手数料を後日支払うことが可能となり、取引の都度中途半端な金額の手数料を引き落とされることがなくなるという効果を有する。

【0015】また、手数料の有無に関わらず、残高を全額利用することが可能となる効果を有する。

【図面の簡単な説明】

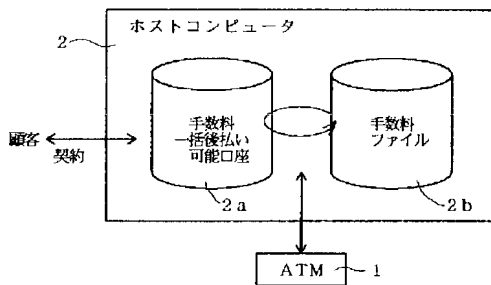
【図1】実施の形態の自動取引装置システムの説明図

【図2】実施の形態の自動取引装置のブロック図

【符号の説明】

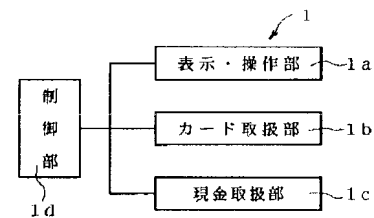
- 1 自動取引装置
- 2 ホストコンピュータ
- 2a 手数料一括後払い可能口座
- 2b 手数料ファイル

【図1】



実施の形態の自動取引装置システムの説明図

【図2】



実施の形態の自動取引装置のブロック図

フロントページの続き

(51)Int. Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 15/30

Z

3 6 0